

# モニタリング結果報告書 (平成29年度)

## 1. 施設概要

施設名	秦野戸川公園	神奈川県立山岳スポーツセンター
所在地	秦野市堀山下・戸川・横野	秦野市戸川1392番地
サイトURL	<a href="http://www.kanagawa-park.or.jp/hadanotokawa/">http://www.kanagawa-park.or.jp/hadanotokawa/</a>	<a href="http://www.kanagawa-park.or.jp/sangaku-sc/">http://www.kanagawa-park.or.jp/sangaku-sc/</a>
根拠条例	神奈川県都市公園条例	神奈川県立山岳スポーツセンター条例
設置目的(設置時期)	公共の福祉の増進 (平成9年7月)	県民に登山に関する知識の習得、技能の向上及びレクリエーションの場を提供し、もって県民のスポーツの振興に寄与するため (平成9年7月)
指定管理者名	公益財団法人 神奈川県公園協会	
指定期間	H27. 4. 1～H32. 3. 31	
施設所管課	都市公園課	スポーツ課

## 2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応
<p>(一体としてのコメント)</p> <p>秦野戸川公園と山岳スポーツセンターについて、提案に基づき、管理スタッフの兼務による一元的管理を行った。また、公園利用(星空観察会)と山岳スポーツセンターでの親子クライミングと宿泊をセットにした公園内での新たな体験プログラムを実施した。今後も、秦野戸川公園と山岳スポーツセンターの更なる連携に期待する。</p> <p>■秦野戸川公園について</p> <p>利用状況がS、利用者満足度がS、収支状況の評価がSとなったことから、平成29年度の3項目評価はS評価となった。 事業計画に基づき適切に業務が実施されており、継続が望まれる。</p> <p>■山岳スポーツセンターについて</p> <p>利用状況の評価がB評価、利用者の満足度の評価がS評価、収支状況の評価がA評価となったことから、平成29年度の3項目評価はA評価となった。 提案に基づいた指定管理業務を着実に実施し、物販等の自主事業等を組み合わせて利用者サービスの向上に努めた。 繁忙期の天候不順による利用人数の減により利用状況の評価がB評価となったが、今後も引き続き、初心者向けのクライミング体験等の企画の更なる充実や各種学校・団体等への広報活動を工夫することにより、利用者の裾野の拡大とともに継続して利用してもらうための取組に努めてもらいたい。</p> <p>&lt;各項目の詳細説明&gt;</p> <p>■秦野戸川公園について</p> <p>◆管理運営等の状況 「丹沢の自然に楽しむアウトドアレクリエーションパーク」を総合的な管理運営方針として事業を実施した。丹沢山ろくの素晴らしい景観のもと、一年を通じて花が楽しめる公園づくりや、地域と連携しながら「秦野戸川公園まつり」等を継続して開催し、公園の魅力発信を行うとともに、地域の活性化にも貢献していた。</p> <p>◆利用状況 利用者数が目標達成率114.8%となったためS評価となった。前年度対比では、0.3%のマイナスとなっている。</p> <p>◆利用者の満足度 上位2段階の回答割合が92.7%となったためS評価となった。</p> <p>◆収支状況 人員配置の見直しと駐車場運営費の節減を理由とした支出の減があり、収支比率は5.4%のプラスとなったためS評価となった。</p> <p>◆苦情・要望等 洋式トイレの設置にかかる要望については、利用者へ現状・対応等説明し理解を得るとともに、自らも一部トイレの洋式化に取り組むなど、利用者ニーズの反映に努めている。</p> <p>◆事故・不祥事等 なし</p> <p>◆労働環境の確保に係る取組状況 県による監査、労働基準監督署からの指摘事項はない。</p>

■山岳スポーツセンターについて

◆管理運営等の状況

提案に基づいて指定管理業務を着実に実施するとともに、物販等の自主事業等を組みあわせて、利用者サービスの向上に努めた。また、施設開館20年が経過し施設の経年劣化が進んでいる中、管理者により施設修繕（2階宿泊室の冷暖房化、屋外クライミング前舗装、案内看板、非常誘導灯LED化）、指定管理者による小規模補修（1階宿泊室の和室全室の畳裏替え、2階宿泊室の2段ベットの補強等）等を実施し、より一層、安全・安心で快適な利用環境の確保に努めた。秦野戸川公園との一体的な管理となり、合同イベントや開館20周年記念イベントの実施による利用促進、植物管理等、各種業務を相互に兼務することによる効率的・効果的な施設運営に努めているところであり、より一体管理の強みを活かし、利便性の向上に努めてほしい。

◆利用状況

施設開館20年目を迎え、記念行事や秦野戸川公園と連携した新たなイベントを実施する等利用者ニーズを反映させた施設運営と事業計画に基づいたサービスの向上策に取り組んだが、繁忙期である夏場の天候不順の影響で宿泊団体利用者の予約取り消しや高体連等のクライミング大会の中止等により利用者数が目標達成率97.1%となり、B評価となった。利用者数の前年度対比は84.5%となった。引き続き、神奈川県山岳連盟と連携し、登山・クライミング教室や親子体験クライミング等を充実させるなど利用者の裾野の拡大を目指すとともに継続して利用してもらうための取組に努めてもらいたい。

◆利用者の満足度

9月と翌年3月に実施し、上位二段階の回答割合が99.1%となったため、S評価となった。昨年度より、回収率は下がったものの、利用者の声を幅広く求めるため、配付数を増やし、回答数は26件増加した。

◆収支状況

利用料金収入は、団体宿泊者やクライミングボード施設の利用者の減少により当初予算額の97.2%減となった。公園管理者との一体管理による効率的・効果的な施設運営による支出の削減に努めた結果、収支比率が102.75%収支差額は405千円のプラスとなったため、A評価となった。

◆苦情・要望等

開館20年が経過し施設の経年劣化に伴う破損など指定管理者に起因しない要望が寄せられたが、職員による定期的な点検を踏まえた修繕を施すなど、適切な対応に努めた。

◆事故・不祥事等

利用者の遭難対策訓練中による怪我が発生したが、速やかに救急搬送依頼を行う等迅速な対応が図れ大事には至らなかった。日頃から職員による施設の日常点検や、専門業者への委託による施設機器、クライミングウォール等の保全に努めた結果、施設の管理不備が原因となる事故や怪我は発生していない。

◆労働環境の確保に係る取組状況

県による監査、労働基準監督署からの指摘事項はない。

◆その他

平成29年度の3項目評価はA評価となった。今後も引き続き、初心者向けのクライミング体験等の企画の更なる充実や各種学校・団体等への広報活動を工夫することにより、東京五輪の注目を契機とした一時の盛り上がりとせず、利用者の裾野の拡大とともに継続して利用してもらうための取組に努めてもらいたい。

3項目評価		
S	<参考> 秦野戸川公園	<参考> 山岳スポーツセンター
	S	A

S：極めて良好  
A：良好  
B：一部改善が必要  
C：抜本的な改善が必要  
※3項目評価とは、3つの項目（利用状況、利用者の満足度、収支状況）の評価結果をもとに行う評価をいう

【秦野戸川公園について】

3. 月例・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	-	-
現場確認	実施日	特記すべき事項があった場合はその内容
	2週に1回程度	-
随時モニタリングにおける指 導・改善勧告等の有無	有・無	指導・改善勧告等の内容
		-

4. 管理運営等の状況

〔 指定管理業務 〕

事業計画の主な内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
効率的・効果的な管理運営	山岳スポーツセンターとの一体的管理に伴い、管理スタッフの兼務による一元的管理を行った。 山岳スポーツセンター及び秦野ビジターセンターとの3館合同イベントを実施した。 バーベキュー、野点、川遊び等の公園利用（H29は星空観察会）と山岳スポーツセンターでの宿泊をセットにした公園内での新たな体験プログラムを実施した。	三館合同イベント・新たな体験プログラムとも募集人数30名程度、年1回開催としていることから、今後、利用促進に繋がる取組として、さらなる工夫が望まれる。
都市近郊のアウトドア空間の魅力向上と健康・スポーツの振興	地域を代表する花修景地として、季節の花々の維持管理を行っており、10万本のチューリップ植付けを始め一年を通じた修景演出により魅力向上を図った。 地域と連携し、マラソン大会や駅伝等の健康促進の場の提供及び運営の協力を努めた。	-
広域利用の拡大も視野に入れた地域振興の核になる公園づくり	市や観光協会、自治会、ボランティア団体等で構成された公園利用運営会議を開催し、連携して収穫体験など地域色豊かなイベントを実施した。登山啓発等を目的とする市後援のイベントへ協力する等、新たな利用者層や広域利用の拡大に助力した。 ボランティアの活動の場として、植物の育成や森林管理を実施した。	-
防災と安全を強化した運営管理	防災設備の点検を行った。シーズン中の川遊び利用の常時監視や、大雨・強風等の気象条件により、水無川の利用禁止や看板等の固定やパトロールを行い安全の確保に努めた。住民との共同防災訓練に関し、H30年度実施に向け地元調整を実施した。	-

[ 参考：自主事業 ]

事業計画の主な内容	実施状況等
駐車場の管理運営	昨年に引続き臨時駐車場を開設し、県道を含めた渋滞の緩和に寄与した。
自動販売機の設置	利用者へのサービス向上や熱中症予防の目的で利用者の多いエリアを中心に自動販売機を設置した。
茶室の管理運営	茶室「おおすみ山居」には茶道の資格を持つスタッフを配置し、抹茶や季節の菓子等の提供を行い、利用促進に努めた。
バーベキュー場の管理運営	食材を指定管理者が提供する手ぶらコースを開始し、利用者へのサービス向上に努めた。

## 5. 利用状況

評価	《評価の目安》 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）があれば記載してください。
S	

	前々年度	前年度	平成29年度
利用者数※	575,920	542,310	540,680
対前年度比		94.2%	99.7%
目標値	453,268	462,155	471,043
目標達成率	127.1%	117.3%	114.8%

目標値の設定根拠： 前年度、平成29年度：提案書記載目標値

利用者数の算出方法（対象）： パークセンターセンサーによるカウント数より推計  
+ 茶室、バーベキュー等利用者数

※ 原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

## 6. 利用者の満足度

評価	<<評価の目安>> 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合的評価の「満足」回答割合で行う
S	

満足度調査の実施内容	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
	県により休日3回、平日2回の計5回調査	指定管理者による適切な公園管理により、前年度と同様に利用者から高い満足度を得ている。

[ サービス内容の総合的評価 ]

質問内容 公園の管理運営状況を総合的に見るといかがでしたか？

実施した調査の配布方法 利用者に直接配布 回収数/配布数 109 / 109 = 100.0%

配布(サンプル)対象 \_\_\_\_\_

	満足	どちらか といえば 満足	どちらで もない	どちらか といえば 不満	不満	合計	満足、不満に回答が あった場合はその理由
サービス内容の総合的評価の回答数	73	28	3	4	1	109	清掃や手入れが行き届いていて素晴らしい
回答率	67.0%	25.7%	2.8%	3.7%	0.9%		
前年度の回答数	83	43	2	0	0	128	
前年度回答率	64.8%	33.6%	1.6%				
回答率の対前年度比	103.3%	76.5%	176.1%				

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

## 7. 収支状況

評価	≪評価の目安≫ 収支差額の当初予算額：0円の施設が該当 収入合計／支出合計の比率が S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超える マイナスが生じている)：85%未満
S	

[ 指定管理業務 ]

(単位:千円)

		収入の状況				収入合計	支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入 の主な内訳			支出	収支差額
前々 年度	当初 予算	93,461	750	17,703	駐車場15,908 自販機1,795	111,914	111,914	0	
	決算	93,461	834	17,428	駐車場15,347 自販機2,080	111,723	110,138	1,585	101.44%
前 年度	当初 予算	93,461	750	25,289	駐車場23,481 自販機1,808	119,500	119,500	0	
	決算	93,461	846	23,539	駐車場22,053 自販機1,486	117,846	116,976	870	100.74%
29 年度	当初 予算	93,461	790	21,789	駐車場19,904 自販機1,885	116,040	116,040	0	
	決算	93,461	765	23,150	駐車場21,668 自販機1,482	117,376	111,327	6,049	105.43%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数

(単位:千円)

29年度 / - 前年度 / - 前々年度 / -

<備考>

## 8. 苦情・要望等

分野	報告件数		概要	対応状況
施設・設備	電話	件	屋外は和式トイレばかりで、高齢者にはきつい。洋式トイレの設置をお願いしたい。	洋式化に指定管理者でも取り組んでいること、県にも要望していく旨伝えた。
	対面	1 件		
職員対応		件		
		件		
事業内容		件		
		件		
その他		件		
		件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

## 9. 事故・不祥事等

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
無し	① ② ③ ④ ⑤ ⑥

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事に関して改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

## 10. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無し	
職員の配置体制	無し	
労働時間	無し	
職場環境	無し	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。

【山岳スポーツセンターについて】

3. 月例・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	なし	
現場確認	実施日	特記すべき事項があった場合はその内容
	平成29年12月21日、 平成30年2月14日、 3月29日	
随時モニタリングにおける指 導・改善勧告等の有無	有 <input checked="" type="radio"/> 無	指導・改善勧告等の内容



#### 4. 管理運営等の状況

[ 指定管理業務 ]

事業計画の主な内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
指定管理業務実施にあたっての考え方、運営方針等について	施設の設置目的及び山岳スポーツの拠点施設であることを十分に理解して施設運営を行った。	
秦野戸川公園との一体的な管理運営について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・秦野戸川公園内にある3施設（秦野戸川公園、秦野ビジターセンター、山岳スポーツセンター）で利用促進、課題の改善に向け連携を図った。</li> <li>・三館共同による利用促進共同イベント「みんなで作る（秦野戸川公園）、登る（山岳スポーツセンター）、遊ぶ（秦野ビジターセンター）」を実施した。</li> <li>※山岳スポーツセンターにおいて親子体験クライミング教室を実施（参加者12組、26名講師8名）</li> <li>・秦野戸川公園内の戸川広場と山岳スポーツセンターで『泊まって体験冬の星空観察と親子体験クライミング』の共同イベントを実施した。（参加者9家族33名、講師5名）</li> </ul>	三館共同の利用促進共同イベントについては、これまでの開催の経験を踏まえ、さらなる参加者数の増加を期待したい。
利用者や地域住民、環境等に配慮した管理運営方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃から「公平」、「透明性」、「厳正」に対応した。</li> <li>・利用者満足度アンケートを実施し利用者ニーズの把握に努めた。</li> <li>・ゼロエミッション等環境に配慮した施設の維持管理に努めた。</li> </ul>	
スポーツ・競技振興について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登山愛好者やクライミングウォール愛好者はもとより、全ての利用者に対してもきめ細かく対応し、スポーツの振興に努めた。</li> <li>・神奈川県山岳連盟と連携を図り、クライミング教室（11回：受講者240名、講師86名）、登山教室（13回：受講者257名、講師68名）を実施した。また、同連盟の協力を得て底辺拡大のイベントを実施した。</li> <li>①親子体験クライミング（4月16日：参加者65名）…秦野丹沢祭り（山開きの中）で実施</li> <li>②親子シャワークライミング（7月22～23日：参加者29名）…沢登り、星空観測、テント泊</li> <li>③開館20周年記念イベント「親子体験クライミング」…参加者51名</li> <li>④8月11日「山の日」施設無料開放</li> <li>⑤親子体験クライミング（10月10日：参加者62）…県民スポーツ週間で実施。秦野戸川公園まつり（10月21日）での実施は雨天のため中止。</li> </ul>	
施設の維持管理について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・秦野戸川公園との一体的な管理運営となり、清掃管理は委託することにより、常に清潔で快適な環境の維持に努めた。また、植物管理等については業務を相互に兼務するなど、効率的な維持管理に努めた。</li> <li>・館内電気点検、害虫消毒等高度な技術や専門的な資格を要する業務については専門業者に委託し、適正な維持管理に努めた。</li> </ul>	

<p>利用促進を図るために行う広報、PR活動、登山・山岳競技等の振興に関する取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「山岳スポーツセンター条例」及び「利用等に関する規則」を遵守し利用者の確保に努めた。</li> <li>・ホームページによる情報（各種イベント案内、宿泊室全室へのエアコン設置）や施設案内を掲示することによって、施設の利用が円滑に行われるよう努めた。また、大倉バス待合所、秦野戸川公園及び山岳スポーツセンター付近の案内掲示を更新する等して利用者の拡大を図った。</li> <li>・神奈川県山岳連盟との連携を図り、クライミング教室、登山教室等円滑な事業の実施に取り組んだ。</li> </ul>	
<p>利用促進を図るためのサービス（接客、ニーズ、苦情の把握処理）の向上に関する取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者満足度調査を実施し、要望可能な事項については対応した。</li> <li>・利用者の声に耳を傾けつつホームページ、パンフレット、施設利用案内チラシで公正に説明し、利用者のご理解を頂きながら利用承認事務を行った。また、施設予約状況を小まめに更新し利用者の利便を図った。</li> <li>・夏場の屋外クライミング施設への日除け設置、宿泊棟1階和室全室の畳裏替えを行い利用者の快適利用を図った。</li> </ul>	
<p>事故防止等安全管理</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事故防止、火災防止や犯罪発生防止のため、職員不在の夜間、休館日の機械警備委託を行い安全の確保に努めた。</li> <li>・「事故防止点検マニュアル」に基づく日常点検を実施して事故防止に努めるとともに、利用者への利用開始前の事故防止の周知を行った。</li> <li>・事故や災害発生時等の緊急時の体制及び初動対応に従い、適切な備えを行った。警報発表時には必ず施設のパトロールを実施した。</li> <li>・年2回の消防訓練の実施。上級及び普通救命講習受講者を配置し、急病人等の発生に備えた。</li> </ul>	
<p>地域と連携した魅力ある施設づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登山者遭難救助連絡会で得た情報を登山愛好者や登山教室で伝え、安全な登山の一助に努めた。</li> <li>・地域に精通している地域企業への優先発注のほか、地元非営利団体等への業務委託を行った。</li> <li>・地元中学校の職場体験の受け入れなど地域との連携に努めた。</li> </ul>	

[ 参考：自主事業 ]

事業計画の主な内容	実施状況等
<p>利用者サービス向上のための物販等</p>	<p>自炊施設であるため、食事機能の補完として、バーベキューセットの貸出等を行った。また、食事機能の補完としては地元仕出し屋の斡旋及びカップ麺の販売などを行い好評を得た。</p> <p>《実績》            カップ麺 88件            バーベキューセットの貸出 18件</p>

## 5. 利用状況

評価	≪評価の目安≫ 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。 社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）があれば記載してください。
B	

	前々年度	前年度	平成29年度
利用者数※	10,481	12,635	10,681
対前年度比		120.6%	84.5%
目標値	11,400	11,500	11,000
目標達成率	91.9%	109.9%	97.1%

目標値の設定根拠： 平成24年度実績（11千人）から約5%増

利用者数の算出方法（対象）： 宿泊利用、宿泊を伴わない休憩利用、研修室利用、屋外クライミングウォールの利用者をカウント

※ 原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

## 6. 利用者の満足度

評価	《評価の目安》 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合的評価の「満足」回答割合で行う
S	

満足度調査の実施内容	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
	年間2回を9月と翌年3月に調査	利用者の声を反映させた施設の維持管理が評価されたため、上位2項目の割合が合計99.1%と高い満足度を得ている。

[ サービス内容の総合的評価 ]

質問内容 施設の管理に対する満足度について該当する印象に○を付けてください（サービス内容の総合的評価）。

実施した調査の配布方法 窓口で配架、利用者等に直接配布 回収数/配布数 318 / 397 = 80.1%

配布(サンプル)対象 施設の利用者

	満足	どちらか といえば 満足	どちらか といえば 不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
サービス内容の総合的評価の回答数	176	139	3	0	318	・施設が清潔、綺麗で過ごしやすい。 ・風呂の設置、自販機の増設。
回答率	55.3%	43.7%	0.9%			
前年度の回答数	175	115	2	0	292	
前年度回答率	59.9%	39.4%	0.7%			
回答率の対前年度比	92.3%	111.0%	137.7%			

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

## 7. 収支状況

評価	《評価の目安》 収支差額の当初予算額：0円の施設が該当 収入合計／支出合計の比率が S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B (概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマ イナスが生じている)：85%未満
A	

[ 指定管理業務 ]

(単位:千円)

		収入の状況					支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入 の主な内訳	収入合計	支出	収支差額	収支比率
前々年度	当初予算	9,339	5,979			15,318	15,318	0	
	決算	9,339	6,014			15,353	15,115	238	101.57%
前年度	当初予算	9,339	5,979			15,318	15,318	0	
	決算	9,339	6,530			15,869	15,148	721	104.76%
29年度	当初予算	9,339	5,979			15,318	15,318	0	
	決算	9,339	5,814			15,153	14,748	405	102.75%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数

(単位:千円)

29年度 / 前年度 / 前々年度 /

<備考>

## 8. 苦情・要望等

分野	報告件数		概要	対応状況
	要望	件数		
施設・設備	38	件	・風呂の設置(14件)、清掃改善(12件)、シャワー付トイレ(6件)、空調(4件)、子供用スリッパの不足、子供用洗面台の設置(各1件)	・空調及び、子供用スリッパ、洗面台は対応済 ・定期清掃週2回、宿泊後は毎回実施していますが、今後もこまめな清掃を心掛けます。
		件		
職員対応		件		
		件		
事業内容		件		
		件		
その他		件		
		件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

## 9. 事故・不祥事等

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
6月3日（土）	①施設給水に伴う受水槽滅菌装置の故障 ②6月7日発生後連絡（代替え機器で対応） ③7月11日機器復旧工事完了し通常稼働 ④無 ⑤経年劣化、無 ⑥無
7月1日（土）	①利用者が遭難対策訓練中に負傷し救急搬送された ②7月1日発生後報告 ③治療のため入院 ④無 ⑤無 ⑥無
	① ② ③ ④ ⑤ ⑥

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事に関して改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

## 10. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。